

警察庁が2012～16年の5年間に起きた交通死亡事故2万431件を分析した結果、薄暮時間帯の午後5～7時台に集中していることがわかりました。この3時間の発生件数は、ほかの時間帯の1.7倍でした。

交通死 薄暮時に集中

時間帯別で最も死亡事故が多かったのは、午後5時台で1389件、午後6時台1370件、午後7時台1216件と続きました。月別では、12月が525件で最も

多く、11月506件、10月484件の順でした。

死亡事故が多くなる要因は①帰宅時間と重なる薄暮の時間帯は交通量が増える②10～12月は日没時

間が早まり急速に薄暗くなるため、歩行者の発見が遅れる——などが考えられます。

事故防止策として、ハイビームの使用や夕暮れ前にライトを点灯するようにしましょう。



交通安全一口メモ